

次に、9番議員の一般質問を許します。9番須藤正人君。

○9番（須藤正人君） 今日は今までになく緊張しております。水っこ飲まへさせていただきます。

議席番号9番の須藤でございます。通告に従いまして、一般質問をいたします。

はじめに、令和6年度の予算編成方針と今後の財政見通し、財政計画についてお伺いをいたします。

今月の漢字一文字が「税」であります。人口減少によって地方交付税、町税、そして国庫支出金が減少していく中、合併優遇措置もなくなり、町の財政にとって大変厳しい局面を迎えているのではないかと思います。

歳出では、社会保障民生費や能代山本市町村圏組合で行っているごみ焼却場の分担金の問題、そして7月の豪雨災害による予算の問題、今後の予算編成において大変苦慮する時代に入ったというふうに思っております。

能代市では、今までの予算を全て洗い直し、そして令和6年度から予算スリム化の方向で進めていくということを市長が話しております。また、山梨県の市川三郷町では、町長が財政非常事態宣言を発令いたしました。今までのやり方では、この町が破綻をしてしまう。町民にも我慢していただくことは我慢してもらい、そして財政を立て直していく。市川三郷町の町長は、将来の町の将来について危機感を持ったそういう宣言だったと言います。

堀内町長も、まあ町長になって初めての予算編成であります。今年度の予算編成は前町長が編成したものであります。この初めての予算編成の中で、やはり新町長ですから、あれもやりたい、これもやりたいというような豊富がいろいろとあると思います。

平成16年、17年、18年に国では合併を推し進めました。合併優遇措置をちらつかせながら、そしていろんな恩典を与えて合併を進めようとしたのであります。国では究極の財政改革は市町村合併だと言ったのであります。しかし、どうでしょうか。その国の借金大きく膨らみ、合併優遇措置によって開いた財布は、全国の市町村が閉じることなく今日までやってきました。しかし、これからの時代は違うと思います。やはり予算を少しずつしぼめていく。コンパクトなまちづくりをしていく。これが重要なことだと思います。合併は非常に厳しいものがありました。私も合併協議会に出て、最後の白神市で私も署名をいたしました。しかし能代市議会の反対にあって、それが崩壊したのであります。合併に使うエネルギーは大変なものがありました。財政が行き詰まったら合

併をすると。そうではなくて、やはり持続可能なまちづくりをしていく。私は堀内町長に、この町がずっと長く存続する町をつくっていただきたい、そう願うのであります。合併をすればいいということではないんです。合併をしないでこの小さな町を、コンパクトなまちをつくって、そして存続させていく、これこそが私の願いであります。

町長は今、財政的に大変な局面を迎えているわけですが、その町民の町を続けていきたいというその思いを酌んで、これからはやはり小さい予算で、そしてみんなが幸せになれる、そういう予算を組んでいただきたいと、そう願います。来年の予算編成は大変難しい。また、どんな予算を組むのかという非常に興味もあります。

今の財政調整基金は、令和4年度で28億5,000万円。この40億円以上あった財政調整基金がここまで落ちております。そして経常収支比率も令和4年度で94.7%。正常な数値が75%であります。ここ数年は90%以上となっており、非常に財政の硬直化が進んでいる。その町の財政を、堀内町長には何回も言うようですけども、しっかりと肝に銘じて予算編成、それから今後の財政計画を立てていただきたい、そう思います。来年の予算編成方針、そして財政計画、その決意をですね今回お伺いしたいというふうに思います。

それから、2問目の質問であります。

7月に豪雨災害がありました。この前、八峰町の先輩議員と会ってお話しする機会がありました。その人は多くの田んぼを持っている人です。「須藤さん、水路が断たれて来年の作付ができるかどうか分からない。町に聞いてもはっきりとした返事が返ってこない。どうなっているのか」、こういうことでありました。私は、確かに激甚災害になって予算査定ができないために入札もできない、工事に取りかかれないというのは分かるんです。しかし、それを随時町民に周知していく、知らせていく、そのことこそが私は大事なことはないかなというふうに思っております。

峰浜地区で給水が断たれた。行政連絡協議会の中で、自治会長から「給水が1カ月ほどかかると言いながらまた急に水が出たりした。この周知はどうなっているのか」というような意見が出たということを知っております。そういう常に町民とコミュニケーションをとって、いろんな形でコミュニケーションをとっていく、それこそが一番大事なことです。林業業者から言われました。「林道が壊れて現場に行けない。私が実費でそこを直したいと役場に言ったら、予算査定ができてないから手をつけないでくれと言われた。何カ月待てばいいのか」ということも言われました。やはりそれもみ

んなに知らせていく、しっかりとコミュニケーションをとって、そして理解をしていただく、それが非常に大事なことだというふうに思っております。

今回の行政報告の中で町長からありましたから、その内容については十分承知いたしました。どうか少しでも早く、その農業者や業者が安心できるそういう報告をしていただきたいというふうに思います。進めていただきたいというふうに思います。よろしくお願いいたします。

質問は以上で終わります。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの9番議員の一般質問に対し、当局の答弁を求めます。  
堀内町長。

○町長（堀内満也君） 須藤議員のご質問にお答えいたします。

はじめに、「令和6年度の予算編成方針について」であります。

町の一般会計において、歳入の約半分を占める普通交付税は、令和3年度に合併算定替えの段階的縮減が終了しているほか、7月の豪雨災害等により町税についても増収は見込めないことから、更に一般財源が減少する見込みとなっております。

また、歳出につきましても、議員ご指摘のとおり、能代山本広域市町村圏組合で実施している一般廃棄物処理施設整備事業の建設工事費の負担金が大幅に増額となることから、令和6年度予算の編成について、大変厳しいものと考えております。

今後の財政見通しにつきまして、令和元年度の当初予算以降、財政調整基金からの繰入額が5億円となっているほか、今年度については、7月の豪雨に伴う災害関連費において、約5億8,000万円を繰り入れしていることから、このままのペースでは、令和8年度には財政調整基金が枯渇することもあり得ると認識しております。

こうしたことから、令和6年度の予算編成に当たっては、編成作業に先駆けて主要となる事業を「政策的事業」、「補助金事業」、「施設等維持管理事業」、「普通建設事業」、「公共施設除却事業」に分類しながら、事業の必要性や費用対効果などを検討しているところであります。

また、予算のフレームとしては、一般財源ベースでの歳入の見込額を算出し、歳出では、人件費などの「義務的経費」と、普通建設事業費をはじめとする「投資的経費」に分類し、費目ごとにシーリングをかけ、目標額を設定した予算編成を行いたいと考えており、職員一人一人が事業におけるコスト縮減を意識しながら、財源の確保と歳出抑制に積極的に取り組むよう指示しております。

いずれにいたしましても、持続可能な八峰町実現のためには、人口減少やこのたびの災害復旧等、課題はあるものの、町民の目線に立った「事業の選択と集中」、スクラップ・アンド・ビルドによる「聖域のない見直し」が必要と考えており、町の将来像「白神の自然と人とで創るやすらぎのまち」の実現に向け、とりわけ「八峰町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の4つの基本目標を念頭におきながら、令和6年度の予算編成に取り組んでまいります。

次に、災害復旧の進捗状況についてであります。

農業生産の基盤である農地・農業用施設の災害に対しましては、迅速かつ適切な災害復旧が求められており、本町を含めた自治体は、復旧に向けた計画概要書等を作成した上で、国への提出を災害発生から90日以内に行うこととし、その後、現地において査定が実施されることとなっております。

町では、県や農村災害支援協議会からの協力を得て、期限内に計画概要書を提出したものの、このたびの災害は国の激甚災害指定となるほどの大規模なものであり、県内の広い範囲で甚大な災害が発生したほか、被害の箇所数も多かったことから、査定期間が約三カ月間にわたって行われているため、時間を要しているところであります。

町の被災施設については、現時点において査定中の箇所はありますが、査定を終えた箇所については、速やかに工事発注に向けた手続きを進め、とりわけ受益面積が大きい水沢ダムから大槻野ため池に繋がる水路の復旧を最優先に行い、それ以外の箇所についても順次復旧を進めてまいります。

また、林道の復旧につきましては、既に工事に着手している箇所があるものの、詳細設計を伴う被災箇所は次年度の発注が見込まれており、林道の全線復旧は来年度中と考えております。

いずれにいたしましても、このたびの災害は、これまで経験したことのない大規模な災害であり、今後も町民の皆様の安全で安心な暮らしを守るためにも、これまで以上に災害に強いまちづくりに努めてまいりますとともに、被災施設の早期復旧に全力で取り組んでまいります。

○議長（皆川鉄也君） 9番議員、再質問ございませんか。9番須藤正人君。

○9番（須藤正人君） 持続可能な八峰町、このこういう町を続けていくためのその基本的な堀内町長の考え方、まずお伺いしたいと思います。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの再質問に対し、当局の答弁を求めます。堀内町長。

○町長（堀内満也君） 須藤議員のご質問にお答えします。

ちょっと総花的な話になるかもしれませんが、やはり子どもからお年寄りまで皆さんが笑顔で、そしてまた、ずっとこの町に住みたいと思えるような、そんなまちづくりが理想であると考えております。そのまちづくりを進めるためにも、やはり財源は非常に必要でございますので、議員おっしゃったとおりですね、その令和6年度の編成予算に当たりましては、そういったところをしっかりと見極めながら、聖域のない見直し、そしてまた予算編成にしたいというふうに考えております。

○議長（皆川鉄也君） 9番議員、ほかに質問ございませんか。9番須藤正人君。

○9番（須藤正人君） 今、町長が話したことを実現していくためには、やはり財源の問題が一番大事なことになってくると思います。前町長は、「持続可能な町」、これが私の一番一丁目だというような話をしておりました。メリ張りのついた予算運営ということをよく言っていたわけでありますが、私はずっと歴代町長を見ても、メリ張りをつけた予算運営は全然してこなかったのではないかなというふうに思っております。もうここ数年は42億円あった財政調整基金が毎年5億円ずつ組み入れないと予算が組めない、そういう状態が続いております。やはりそれを打破していく。確かに合併特例債で積み上げた10億円もあります。しかし財政調整基金が年々減少してくる。これは町の貯金でありますから、その貯金がなくなった時に町はどうなるのでしょうか。そこをですね十分に、そのもう財政というものを私は一番に考えた、そういう町政運営をしていただきたいというふうに思います。町長いかがでしょうか。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの再質問に対し、当局の答弁を求めます。堀内町長。

○町長（堀内満也君） 正に議員おっしゃるとおりだと私も思っております。いずれその行政運営を進めていく上では、このやはり財政をしっかりとする、これはもう間違いのないことでございますし、私も前職の県庁時代からそういったところをしっかりと勉強してきたつもりです。そういったところをしっかりとですね、この町政においても反映してですね、持続可能なまちづくりにしっかりと努めてまいりたいと考えております。

以上です。

○議長（皆川鉄也君） ほかに質問ございませんか。9番須藤正人君。

○9番（須藤正人君） 行政報告の中で令和6年度の予算編成については一言も触れてありませんでした。私の一般質問があったから、ああ、私と菊地議員の一般質問があったから、そこでお話をするということだったと思いますが、来年の令和6年度の予算編成

においても、町長の考えでは財政調整基金をどのくらい当てにして予算編成をつくるおつもりなのか。まあ財政調整基金がないと予算は組めないと思います。でも、毎年5億円が数年続いているんですね。ですから、もうここでその財調を少しでも減らした予算編成にすると、そういうお気持ちがあるのかどうか。その辺をもう一度お伺いしたいと思います。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの再質問に対し、答弁を求めます。堀内町長。

○町長（堀内満也君） 議員のご質問にお答えいたします。

ちょっと繰り返しになる部分もありますけれども、いずれ聖域のない見直し、そしてまたゼロベースで予算を計上していこうというふうに考えております。それはもう私の方から財政の方にも伝えておりますし、全ての職員に伝わっているところでございます。

具体的な数字としては、どれだけの切り崩しが必要なのかどうかというところはこれからでございますけれども、いずれにしても来年度は今年のですね災害復旧、これがまあ一丁目一番地だと思っております。そういったところを踏まえまして、まあ繰り返しになりますけど、ゼロベースでそういったところを含めて考えていきたいというふうに思っております。

○議長（皆川鉄也君） 9番議員、ほかに質問ございませんか。9番須藤正人君。

○9番（須藤正人君） まあ今定例会が終わると予算査定に入るものと思います。高杉企画財政課長も、この財政調整基金がだんだん少なくなっていく、大変危惧しておりました。森田町長時代から危惧しておりました。もう本当にここで締めないと、財布の紐をちゃんと締めないと、これはもうこのままどんどん進んでいってしまう。やがては合併に、そういう話も出てくる。それでは私は町民は大変難儀をするというふうに思います。ですから、合併しなくてもいいような財政運営をしていただきたい。その決意をもう一回お聞きしたいと思います。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの質問に対し、当局の答弁を求めます。堀内町長。

○町長（堀内満也君） 現時点において、まあ他市町村との合併は一切考えておりませんし、単独でこの八峰町を、もう将来持続可能なまちづくりを進めながら、将来ともこの八峰町が存続できるようなそういった取り組みをしっかりと進めていきたいと思っております。

○議長（皆川鉄也君） 9番議員、ほかに質問ございませんか。

○9番（須藤正人君） 終わります。

○議長（皆川鉄也君） これで1問目の質問を終了いたします。

2問目の再質問ございませんか。

○9番（須藤正人君） ありません。

○議長（皆川鉄也君） ほかに質問ないようでございますので、これで9番議員の一般質問を終了します。

休憩いたします。10時57分より再開いたします。

午前10時51分 休 憩

.....